

安城歴史研究

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考									
安城歴史研究 創刊号	昭和50年	天野暢保	別郷廢寺考	97頁	150g	0.5cm	300円	A5縦									
		神谷素光	蓮如の三河布教について														
		小山正文	大岡白山神宮寺の鏝口をめぐって														
		田中実	安城の伝説に関する考察														
		稲垣維晃	安城の交通史														
		杉浦紀久	山崎延吉の農村教育														
安城歴史研究 第2号	昭和51年	天野暢保	寺領廢寺の建立者	155頁	220g	0.8cm	400円	A5縦	完売								
		深津精一	志貴荘														
		神谷素光	安城地名考説														
		小山正文	大岡白山神宮寺の本地仏と懸仏														
		石川和正	三河方歳の研究														
		高橋卓三	鷲蔵池論争 上 ～その近世的意義～														
		稲垣維晃	安城における方面事業の史的考察														
		田中実	三河地震の研究														
		安城歴史を学ぶ会	共同研究 日本デンマーク農業の研究														
		神谷昭平	安城北部溜池聞き書														
		永井眞一	安城の農民～新田町太田正一氏の場合～														
		石川俊子・石川愛子	高棚村開田年次調査														
		安城歴史研究 第3号	昭和52年							天野暢保	原始・古代遺跡の微地形～安城市域の遺跡～	87頁	130g	0.5cm	300円	A5縦	完売
										池本正明	宮下・古井堤遺跡						
大見裕之	鎌倉街道～安城東部小学校学区内を主として～																
山本松男	大清水今昔																
太田一男	板倉農場の展開																
深津精一	海軍明治航空基地																
星野光俊	地形図から読み取る安城のようす																
安城歴史研究 第4号	昭和53年			天野暢保	美豆良を描く人面文の土器	112頁	165g	0.6cm	300円	A5縦							
		深津精一	刑部出仕の民														
		小山正文	本證寺本『教行信證』の歴史的考察														
		天野暢保	中川覚右衛門の自刃伝承														
		牧仁作	五箇野原														
		大見裕之	おおきさん雑記														
		斎藤卓志	安城の民俗														
		安城歴史研究 第5号	昭和54年	鈴木美保子	『花の瀧』考(その一)							120頁	180g	0.7cm	300円	A5縦	完売
大見裕之	鎌倉街道雑記～安城市内を中心として～																
深津精一	西蓮寺の光明品と十祖画像																
高野末雄	古典にみる地蔵信仰～安城の石仏調査に参加して～																
天野暢保	小川村義民、大屋長太夫																
林昌弘	男女別檀那寺制について～福釜と榎前の宗旨人別帳～																
石川和正	郷土のうた																

安城歴史研究

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
安城歴史研究 第6号	昭和55年	深津精一 地領主和田氏と寺院関係 鈴木美保子 『花の瀧』考(その二) 世史研究会 松平氏の研究 大見裕之 安城合戦余話 市瀬圭介 丈山拾遺(其の一) 天野暢保 小川村小向の義民 都築道子 報告書に見る地名の変遷 斎藤卓志 の有形民俗資料について 神谷昭平 聞書『濱碇』 永井真一 安城の道祖神	151頁	220g	0.8cm	400円	A5縦	完売
安城歴史研究 第7号	昭和56年	深津精一 奈良朝とその前後 市瀬久裕 丈山拾遺(その二) 林昌弘 吉宗『御関札』の謎 都築道子 堀尾家古文書紹介 大見裕之 まぼろしの二本木城余聞 神谷昭平 同人雑誌『青林』	113頁	180g	0.6cm	400円	A5縦	
安城歴史研究 第8号	昭和57年	深津精一 古代末期から中世へ 小山正文 初期真宗と法然聖人掛幅 絵伝～野寺本證寺本をめ ぐって～ 市瀬久裕 丈山拾遺(その三) 大見裕之 神光寺今昔 都築道子 堀尾家古文書紹介(その 二)	122頁	190g	0.7cm	400円	A5縦	
安城歴史研究 第9号	昭和58年	天野暢保 上条遺跡の新羅土器につ いて 谷 悟 上条遺跡群東上条地点出 土の人面文球形土製品 深津精一 古代の前期 大見裕之 福釜城跡は語る 都築道子 典薬頭錦小路家と幕末の 安城の医師達	121頁	185g	0.7cm	400円	A5縦	
安城歴史研究 第10号	昭和59年	塚本学 特別寄稿 久永章武と本草 学 天野暢保 本陣B遺跡の竪穴について 神谷友和 亀塚遺跡と古井遺跡群 畔柳典造 北本郷古墳の古鏡について 天野信治 深津精一 中世 内乱・戦国の時代 市川重信 医王山長泉寺について 細井茂樹 山本竜也 斎藤卓志 産育のフォーグロア	137頁	215g	0.8cm	400円	A5縦	
安城歴史研究 第11号	昭和60年	斎藤五郎 天明初期に知立宿を通行し た大名衆、公家衆の覚書 深津精一 近代の落穂(一) 大見裕之 箕輪城余話	69頁	120g	0.5cm	300円	A5縦	
安城歴史研究 第12号	昭和61年	深津精一 当地方の中のオリエント 都築道子 西蓮寺古文書と福釜松平 の初期 細井茂樹 貞印寺について 斎藤卓志 ウナオトシの禁忌について	66頁	115g	0.5cm	300円	A5縦	

安城歴史研究

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考	
安城歴史研究 第13号	昭和62年	神谷素光	三河真宗の系譜	93頁	150g	0.6cm	400円	A5縦	
		鈴木和雄	川西大庄屋手永村口上の覚						
		飯塚朋子・伊藤キミ・大見きよ・加藤美紗・仲野登志子・高取敬子	『六條御殿御用材』の保存処理について						
		鈴木和雄	三河三白山社桜井神社祭礼帳抜粋						
		深津精一	地名						
安城歴史研究 第14号	昭和63年	神谷素光	善光寺信仰の様相	137頁	200g	0.8cm	400円	A5縦	
		岩月碧水	石川丈山筆語録～与朝鮮国権学士菊軒筆語～						
		鈴木和雄	稲垣長右衛門旧宅唐紙下張の文書抜粋						
		奥村勝信	桜井神社の神楽						
		深津精一	近代の落穂(二)						
		稲垣恒夫・佐藤俊克・渡辺哲郎	(史料紹介)磯部平三郎手記『世々乃かゞ美』						
安城歴史研究 第15号	平成元年	鈴木和雄	寺領廃寺跡発掘調査報告書抜粋	147頁	220g	0.8cm	500円	A5縦	完売
		深津精一	ヤマト政権と地方						
		熊谷守	堀内村熊谷新蔵控帳						
		岩月碧水	石川丈山故居遺址碑記ほか						
		鈴木美津枝	赤米の歴史と栽培の記録						
		石川丈山研究会	石川丈山の詩集『覆醬集』の一考察						
安城歴史研究 第16号	平成2年	鈴木和雄	寺領廃寺跡発掘調査報告書抜粋(二)	179頁	265g	1.0cm	500円	A5縦	
		池本正明	碧海台地の中世遺跡						
		深津精一	野寺本證寺聖徳太子絵伝と歴史考						
		岩月碧水	石川丈山と三十六詩仙						
		鈴木実	土御門家と三河万歳(前編)						
		神谷昭平	安城六角堂の創立者田中繁市						
		熊谷守	稲垣長右衛門旧宅唐紙下張の文書抜粋(二)						
		石川丈山研究会	石川丈山の詩集『覆醬集』の一考察(二)						
安城歴史研究 第17号	平成3年	池本正明	安城市古井遺跡群採集の条痕文系土器について	161頁	240g	0.9cm	400円	A5縦	
		岩月碧水	『新編覆醬続集』にみる石川丈山						
		鈴木実	土御門家と三河万歳(後編)						
		鈴木和雄	桜井村の山論資料抜粋						
		熊谷守	桜井村庄屋川澄源兵衛文書抜粋						
		深津精一	近代の落穂(三)						

安城歴史研究

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
安城歴史研究 第18号	平成4年	深津精一 東端貝塚と社 鈴木和雄 桜井神社近世村方文書抜粋 山本松男 山岳信仰と蔵王神社 岩月碧水 丈山の詩集『覆醬集』対句の一考察 馬淵良俊 石川丈山年譜の考察 神谷素光 三河三か寺の成立 斎藤卓志 秋葉の小祠と地域社会 岡安雅彦 安城市和泉町の雨乞い習俗	130頁	195g	0.7cm	400円	A5縦	
安城歴史研究 第19号	平成5年	馬淵良俊 石川丈山年譜の考察(二) 鈴木実 徳若御萬歳 鈴木和雄 近世に於ける酒造業(菩提寺文書) 川合正治 大岡白山神社の天王祭 岩月碧水 新編覆醬続集 卷之一(一) 尾関文啓 新美南吉と安城 深津精一 市域の歴史背景 斎藤卓志 三河東端仙屋三代 神谷素光 三河の絵伝	149頁	200g	0.8cm	400円	A5縦	
安城歴史研究 第20号	平成6年	鈴木丹 明治基地と海軍航空隊 神谷素光 山崎延吉の足跡 鈴木和雄 稲垣長右衛門旧宅唐紙下張の文書抜粋(その三) 熊谷守 堀内村 清水家『田畑手作取入記』 深津精一 万吉山長福寺 岩月碧水 新編覆醬続集 卷之一(二) 川合正治 安城の湧き水と弁天さん 斎藤卓志 石合戦の民俗 「安城歴史研究」1号～20号 総目次 「安城歴史研究」1号～20号 執筆者別目次	152頁	235g	0.8cm	400円	A5縦	
安城歴史研究 第21号	平成7年	神谷素光 山崎延吉の晩年 鈴木和雄 菩提寺文書に見た庶民の生活 阿部健・渥美精一・深井宗善 上条村文書『送り一札』について 岩月碧水 新編覆醬続集 卷之二(一) 川合正治 安城の野井戸 斎藤卓志 親と子の贈答 深津精一 安城市内にまつられる神々(一) 天野暢保 蓮如の三河への旅(上)	115頁	180g	0.7cm	300円	A5縦	
安城歴史研究 第22号	平成8年	斎藤績 上条町の奉納四本柱土俵 川合正治 大見重雄と宮本常一 神谷素光 日本デンマークの実像 天野暢保 蓮如の三河への旅(下) 鈴木和雄 村医師小久江仙庵と頼母子講について 山本松男 中川覚先生を偲びて 深津精一 安城市にまつられる神々(二) 神谷友和 愛知県古井遺跡群出土の須恵器	122頁	195g	0.7cm	300円	A5縦	

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考							
安城歴史研究 第23号	平成9年	神谷友和	矢作川流域の遠賀川系土器	125頁	205g	0.7cm	300円	A5縦							
		深津精一	まつられる神々の添加												
		天野暢保	鎌倉・南北朝時代の三河真宗												
		鈴木和雄	萬因講頼母子について												
		齋藤績	上条町白山媛神社の相撲奉納額												
		川合正治・甲原恵美子・新家とよ子	箕輪の瓦屋												
		小川町郷土史編集委員会	小川町の施設園芸農業のあゆみ												
安城歴史研究 第24号	平成10年	神谷素光	三河万歳史稿	130頁	200g	0.8cm	300円	A5縦							
		川合正治	丈山広島在住資料												
		鈴木和雄	近世における地方商人稲垣彦右衛門の所業について												
		阿部健・渥美精一・深井宗善・齋藤績・黒野俊勝・星野光俊	上条村文書『頼母子講』について												
		鈴木丹	明治初期の碧海郡内各村などの行政区画の復元及びその後の変遷												
		鈴木丹	岡崎基地と海軍航空隊												
		深津精一	東端の安城市合併												
安城歴史研究 第25号	平成11年	深津精一	超古代からの安城市	116頁	160g	0.6cm	300円	A5縦							
		阿部健・渥美精一・深井宗善・齋藤績・黒野俊勝・山中康彦	上条村領主の変遷と相給の村												
		(故)市川重信・細井茂樹・山本龍也	大岡八景												
		神谷素光	寺部だい その女子職業教育の軌跡												
		鈴木和雄	野辺送りと蓮台についての思考												
		神谷新一・川合正治	第一岡崎航空隊と開拓史～海軍省の田んぼ～												
		安城歴史研究 第26号	平成12年						深津精一	古代の安城市(1)	135頁	210g	0.8cm	300円	A5縦
									阿部健・渥美精一・深井宗善・齋藤績・黒野俊勝・山中康彦	安城市と上条村との山論～細田をめぐる～					
中筋孝	柿・村年貢の変遷														
鈴木和雄	十九世紀末の桜井神社祭禮あれこれ														
川合正治	軍楽少佐 岡田国一～陸軍戸山学校 軍楽隊長～														
神谷素光	山崎延吉による農業行脚														

安城歴史研究

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考	
安城歴史研究 第27号	平成13年	神谷素光	石川丈山の美学	172頁	240g	0.9cm	400円	A5縦	
		齋藤績	上条町の神光寺に伝わる朱印状写						
		中筋孝	柿・村の慶安検地帳と宝暦名寄帳の間						
		鈴木和雄	弘化三年桜井村郷蔵に於て起きた不詳事件について(菩提寺文書紹介)						
		川合正治・(故)石川三千郎	中根医家について～幕末から平成にかけて活躍した医師一族～						
		上条町史編集委員会	上条村の安城が原開発						
安城歴史研究 第28号	平成14年	鈴木丹	明治基地とB29邀撃戦	154頁	200g	0.7cm	400円	A5縦	完売
		中筋孝	柿・村絵図の考察						
		石川市治郎・天野暢保	根崎八幡神社の由緒をよむ						
		上条町史編集委員会	上条村における地租改正と社寺地処分						
		川合正治	安城に進出した軍需工場						
		鈴木丹	明治基地誕生の経緯とその戦後						
安城歴史研究 第29号	平成15年	齋藤卓志	洋画家福山すすむからのメッセージ	144頁	190g	0.7cm	400円	A5縦	
		上条町史編集委員会	上条村の成り立ち						
		中筋孝	江戸時代の柿・村の花火						
		川合正治・甲原恵美子	越前公・昆陽先生と甘藷						
安城歴史研究 第30号	平成16年	川合正治・甲原恵美子	三河大岡家に繋がる事柄～大岡忠光公・大岡忠相公と他の大岡家～	136頁	180g	0.7cm	300円	A5縦	
		齋藤績	現代の福祉から見た額田県の「管内士族平民心得書」						
		阿部健・渥美精一・深井宗善・齋藤績・黒野俊勝・山中康彦	上条浄玄寺						
		齋藤績	地籍帳にみる上条村						
安城歴史研究 第30号	平成16年	中筋孝	五千石旗本水野氏領民の国役金無高分免除訴訟の経緯	136頁	180g	0.7cm	300円	A5縦	
		尾関文啓	新美南吉と安城(二)～南吉顕彰活動の歩み(上)～						
		川合正治	保科家について～保科正直・正光・正之(松平)・・・松平容保～						
			「安城歴史研究」1号～30号 総目次						
		「安城歴史研究」1号～30号 執筆者別目次							

安城歴史研究

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
安城歴史研究 第31号	平成17年	石川恒久	石川丈山の血縁と人脈	186頁	240g	0.9cm	400円	A5縦
		中筋孝	江戸時代尾崎村の年貢の変遷					
		上条町史編集委員会	上条地内の信参鉄道計画					
		齋藤績	地籍帳にみる上条村の飛び地～細田と土器田～					
		尾関文啓	新美南吉と安城(三)～南吉顕彰活動の歩み(下)～					
		川合正治	大岡介宗一族攷					
			「安城歴史研究」1号～31号 総目次					
			「安城歴史研究」1号～31号 執筆者別目次					
安城歴史研究 第32号	平成18年	川合正治	久永家について	154頁	198g	0.8cm	800円	A5縦
		中筋孝	江戸時代の農村における農業外の諸業務～岡崎領尾崎村の場合～					
		石川恒久	石川丈山の血縁と人脈(その二)					
		齋藤績	上条村の出征兵士					
		齋藤卓志	カゴ屋聞き書き					
		上条町史編集委員会	上条の昭和十八、九年作付供出割当					
安城歴史研究 第33号	平成19年	澤田喜久子	新美南吉の教え子たち～会誌「花のき」に見る安城高女十九回生～	115頁	165g	0.6cm	800円	A5縦
		中筋孝	江戸時代の農村における世帯構成～岡崎領尾崎村の場合～					
		天野信治	松韻寺「太子岩伝説」覚書					
		川合正治	庄屋 杉浦庄右衛門に繋がる事柄～三河(安城)と江戸(目黒)の対比～					
安城歴史研究 第34号	平成20年	鈴木 丹	集落「根崎」の伝説と歴史	93頁	146g	0.5cm	800円	A5縦
		川合正治	米津家について					
		中筋孝	法蔵寺物語					
安城歴史研究 第35号	平成21年	中筋孝	江戸時代尾崎村の往還の景観	106頁	156g	0.6cm	800円	A5縦
		川合正治	大岡忠直一族攷					
		齋藤卓志	福山すすむと安城の風土					
		三島一信	安城の地名を考える - 安城と安祥 -					
安城歴史研究 第36号	平成22年	石川恒久	石川丈山の血縁と人脈(其の三)	102頁	169g	0.6cm	800円	A5縦
		齋藤卓志	新美南吉と北野喜祥					
		川合正治	安祥城と安城城について					
		三島一信	安城の地名を考える 2					
安城歴史研究 第37号	平成23年	齋藤卓志	新美南吉の戯曲「ラムプの夜」をめぐって	75頁	127g	0.5cm	800円	A5縦
		川合正治	高力家について					
		渥美精一	松平太郎左衛門家と上条隼人佐信吉					
安城歴史研究 第38号	平成24年	天野暁保	古井の古井戸-碧海地方の古井戸を考える-	74頁	116g	0.4cm	800円	A5縦
		川合正治	三河安祥城主 松平信忠と教安寺					
		渥美精一	御田扇祭					

安城歴史研究

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考	
安城歴史研究 第39号	平成25年	中筋孝	江戸時代の川島村 加藤家文書を読む	129頁	184g	0.6cm	800円	A5縦	
		鈴木丹	寺津大河内と根崎村の絆						
		田中覚	岡崎海軍航空基地 一兵士の記録						
		渥美精一	白山神社・神光寺の変遷と上条村						
		川合正治	安祥城の表記について						
安城歴史研究 第40号	平成26年	田中覚	都築弥厚と明治用水-弥厚生誕二百五十年に寄せて-	90頁	138g	0.5cm	900円	A5縦	完売
		渥美精一	過去の地震と安城地域						
		川合正治	堀平右衛門家 致						
		三島一信	系譜から見る加藤嘉明の出自について						
安城歴史研究 第41号	平成27年	中筋孝	頼母子講仕方帳の仕方の解析	100頁	149g	0.6cm	1100円	A5縦	
		田中覚	明治用水の水運と水車利用-明治用水の忘れられた成果-						
		川合正治	中根医家と伊藤両村(民之輔)-伊藤(中根)順蔵と妻春子-						
		山崎裕太	篠目城再考						
安城歴史研究 第42号	平成29年	渥美精一	三河三白山社・(白山媛神社)	67頁	108g	0.4cm	1200円	A5縦	
		田中覚	明治用水の原資は溜池-消えた碧海台地の溜池-						
		高山忠士	村絵図を歩く(安城村)						
		加藤希央	『萬綴』にみる安城高等女学校のメディア環境と国民教化活動の様相-新美南吉の日記および教え子の証言と共に						
安城歴史研究 第43号	平成29年	中筋孝	江戸時代後期の田畑の売買価格	56頁	99g	0.4cm	1200円	A5縦	
		田中覚	明治用水生みの親 岡本兵松～生誕二百年を迎えるに当たり～						
		早川一雄	都築三郎兵衛の銘酒「瀧泉」						
			国、県、市指定文化財リスト 国登録(有形)文化財リスト (平成二十九年末現在)						
安城歴史研究 第44号	平成30年	中筋孝	江戸時代後期の田畑の売買価格(続)	66頁	110g	0.4cm	1200円	A5縦	
		田中覚	若き塚本学教授の労作『明治用水』						
		早川一雄	近世後期・近現代の顕彰事業における時代がつくった丈山邸址						
		加藤昭夫	川島の史跡『御旅所(白山信仰)』						
安城歴史研究 第45号	令和元年	市川とし子	領主「本多家」と古井村	101頁	137g	0.5cm	1200円	A5縦	
		早川一雄	五人組の編成 旗本松平氏知行根崎・和泉村の事例						
		石川真規夫	明和九年(一七七二)榎前村触れ状を読んで						
		森下敬子	山崎延吉と朝鮮 農村振興運動についての一考察(上)						

安城歴史研究

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
		石原寛子 北明治稲荷社の奉納物と 地域の人々						

安城歴史研究

書名	年度	内容	頁数	重量	厚み	定価	版形	備考
安城歴史研究 第46号	令和2年	早川一雄	証的な試み-矢作川流域に極めて多い地名「家下」を通して-	87頁	126 g	0.5 cm	1200円	A5縦
		森下敬子	山崎延吉と朝鮮 農村振興運動についての一考察(下)					
		岡島修二 神谷友和	小学校学習教材「広島原爆体験談の活用」					
安城歴史研究 第47号	令和3年	早川一雄	志願・学徒出陣3名の兵役-戦争後期の様相を聞き取る・調べる・伝える-	66頁	115 g	0.4 cm	1200円	A5縦
		神谷友和	現存する学校日誌から読み解く泉小学校と城ヶ入小学校					
		太田忠宏	追田川の歩み					
安城歴史研究 第48号	令和4年	太田忠宏	「現代史」との接し方-安城市が関わった「合併」をとおして-	92頁	138 g	0.6 cm	1200円	A5縦
		早川一雄	石川丈山の文化 継承をさぐる					
		神谷友和	二本木小学校開校前夜					
安城歴史研究 第49号	令和5年	市川とし子	西端村出入一件-消えた御救米-	37頁	79 g	0.3 cm	900円	A5縦
		神谷友和	旧泉小学校の震災記録『国民学校災害状況報告要項』					
安城歴史研究 第50号	令和6年	石川真規夫	文久三年(1863)御触状写留に記録された將軍・家茂の上洛のこと	109頁	159 g	0.6 cm	1200円	A5縦
		嶋貫晃余	安城市域を通った巡見使と村の対応について					
		天野暘保	伊与田与八郎家の家系図について(前編)					
		神谷友和	戦争の語り部たち(その一)					
			「安城歴史研究」1号～50号 総目次・執筆者目次					
安城歴史研究 第51号	令和7年	早川一雄	都築桑治郎の浪花糺取次販売-明治三五年からの棒手振り-	82頁	119 g	0.5 cm	1200円	A5縦
		神谷友和	戦争の語り部たち(その二)-福釜の金属類供出事例-					
		天野暘保	伊与田与八郎家の系図について(後編)					